

【田原地区の農用地等面積】 694 ha

うち 【田】 478.1 ha 【畠】 200.1 ha

(農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 580.2 ha)

- 今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計 42.7ha
- 田原地区における 75 才以上の農業者の農地面積 合計 188.3 ha
- 主な生産品目：水稻・大豆・永年性牧草・野菜（トマト、キュウリ、ピーマン、葉菜）・肉用牛（繁殖）

（令和7年8月 26 日現在）

地域農業の課題

1. 水田の効率悪化

- 未整備水田が多く（6割）
- 作業効率の悪い耕地（水利・土質問題）

2. 高齢化・担い手不足

- 農事組合法人は担い手だが構成員が高齢
- 後継者確保が課題
- 個人担い手も飽和状態

3. 離農・規模縮小の進行

- 農業従事者の高齢化→離農・規模縮小

4. 高収益作物の拡大困難

- 年齢・労働力不足
- 取り組める農業者が限定的

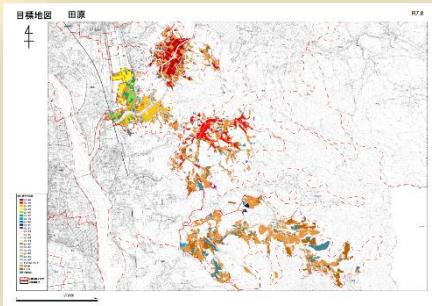
5. 農業所得の低下

- 農畜産物価格低迷
- 生産費高騰→再生産価格未確保

6. 耕作放棄地の増加懸念

- 交付金対象外水田の増加（5年水張り要件）
- 耕作放棄地増加の懸念

田原地区の目標地図



地域計画は、奥州市内 45 地区で策定をしました。

地域計画は、地域の話し合いで出し合った「課題」や「今後の方向性」を取りまとめ、さらに農地一筆ごとに 10 年後の耕作者を取りまとめた目標地図も作成されています。

このダイジェスト版は、地域農業の「課題」や「今後の方向性」を抜粋して作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくものですので、年に1回程度、地域の皆さんで「課題はありますか?」、「困り事はありますか?」、「やってみたい農業はありますか?」など、話し合ってみてはいかがでしょう。

地域農業の方向性

1. 農地の集積・集約化

- └ 利用効率化
- └ 経営基盤強化・持続的農業経営

2. デジタル技術・スマート農業導入

- └ 生産効率・精度向上
- └ 労働力不足対応
- └ 生産コスト削減

3. 環境・持続可能な農業推進

- └ 特別栽培（減農薬・減化学肥料）
- └ 循環型農業の強化

4. 地域コミュニティ連携強化

- └ 自治体・企業・住民等との関係強化
- └ 課題共有と地域発展の協働体制

5. 基盤整備事業の推進

- └ 区画拡大
- └ 暗渠排水等による作業効率化

6. 多様な経営体の確保・育成

- └ 認定農業者・新規就農者の確保
- └ 技術継承
- └ 若手・多様な経営体の育成支援

7. 鳥獣被害防止対策

- └ 緩衝帯活用（山林隣接耕作地・放棄地）
- └ 電気柵・防護柵の設置検討

8. 農業委員会・農地中間管理機構の積極活用

- └ 貸借・遊休地解消

9. 農作業受託・共同作業体制構築

- └ 農業協同組合等のサービス活用

このダイジェスト版を「地域の話し合いで使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しすることもできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

※個人情報に該当する部分は掲載していません

■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページ ID を入力」の入力欄→「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで下記 QR コードを読み込む



■問い合わせ…奥州市農政課人農地
プラン推進室(Tel0197-34-2371)

